

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 795 号	氏名	高橋 健介
学位審査委員		主査	橋爪 真弘
		副査	本田 純久
		副査	Juntra Karbwang Laothavorn
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、ベトナム成人における市中肺炎の発生率、病原微生物、臨床像ならびに肺炎リスク因子を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ベトナム中部ニャチャン市で唯一の総合病院において、1年間の前向き調査により成人市中肺炎症例を抽出し、同期間の診療記録から抽出した ICD-10 コード情報に基づいて同定した市中肺炎症例を合わせて、市全体の市中肺炎の年齢別・性別発生率を推定した。病原微生物については、喀痰検体より DNA を抽出し 3 種類の呼吸器病原細菌の検出を、また鼻咽腔拭い液より RNA を抽出し 13 種類の呼吸器病原ウイルスの検出をマルチプレックス PCR 法を用いて行っており、研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 ニャチャン市における成人市中肺炎の発生率 (95%信頼区間) は、年間 1000 人当たり 0.81 (0.71-0.91) と推定され、65 歳以上における発生率は、65 歳未満と比べ 10 倍と推定された。肺炎症例の検出菌は、インフルエンザ桿菌 (28%)、肺炎球菌 (23%) の順に多く、呼吸器病原ウイルスは 21% で検出され、インフルエンザ A 型 (9%) およびライノウイルス (6%) が最も多く検出された。上記の結果は、今後高齢化が進行する東南アジア諸国における肺炎対策に関する研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は感染症疫学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			